

## 純真学園大学 河村研究室紹介 「九州を中心に社会に羽ばたく一期生」

純真学園大学保健医療学部 放射線技術科学科  
河村 誠治

### 1. はじめに

純真学園大学は、平成 23 年 4 月に福岡市中心部から 15 分と立地条件の良い南区大橋の筑紫丘に設立された新設大学です。純真学園大学を運営する「学校法人純真学園」自体の歴史は古く、昭和 31 年、学祖福田昌子先生によって「気品」「知性」「奉仕」を兼ね備えた人材の育成を目指し「学校法人純真女子学園」が設立されたことに始まります。平成 19 年には学校法人の名称を「学校法人純真学園」に変更・改組しています。現在、九州地区では初めての保健医療学部系の 1 学部 4 学科（看護学科、放射線技術科学科、検査科学科、医療工学科）で構成されており、平成 27 年 3 月には一期生が卒業し社会へ羽ばたきました。

### 2. 純真学園大学の概要

純真学園大学の概要を述べさせていただきます。昭和 31 年、私学としては福岡県で戦後 3 番目となる「純真女子高等学校」を設立、昭和 32 年には「純真女子短期大学」を、昭和 40 年には私学では初となる「衛生看護科」を純真女子高等学校に設置、昭和 42 年には「東和大学」を開設しています。東和大学（現在は閉校）では設立当初より医療電子工学科を設け、その後、臨床工学技士の資格取得を目指せる九州唯一の臨床工学コースを設置していました。同じキャンパスに短期大学お

よび高等学校、幼稚園が併設されています。学校法人純真学園は、学園開設より 57 年以上が経過し、医療界へも実践的職業人を多数輩出するなど、大きな実績を残しています。

さて、純真学園大学の教育の特色は、4 年間をかけて行うインタープロフェSSIONAL 科目（医療連携の基礎、チーム医療 I：医療連携の構築、チーム医療 II：医療連携の展開、総合チーム医療）（以下、IPE 科目）にあると思います。学科の専門的知識の修得を行いつつ、IPE 科目では医師や他の医療技術者の視点を学ぶことができるカリキュラム編成となっています。これによりお互いの職種を相互理解し、チーム医療に必要な連携能力を身につけ、さらに患者さんの立場に立った総合医療の実践が可能な人材育成を目指しています。

放射線技術科学科の定員は 60 名で、福岡県を主として九州一円の広い地域から学生が入学しています。学部教育では卒業および国家試験の合格は最優先事項ですが、各分野における先端技術の修得、情報教育等を充実させ、九州地区を中心とした地域医療へ貢献できる人材の育成に総力をあげて取り組んでいます。

### 3. 研究室紹介

放射線技術科学科 1 期生 5 名（男性 2 名、女性 3 名）の卒業研究を指導する機

会に恵まれたので紹介させていただきます。これまで本誌で研究室紹介をされてこられた方々は主に大学院の修士課程や博士課程の指導を行ってこられた方々ですので少々気が引けますが、研究室の1ページとして記録に残したいという気持ちやこのような機会を与えて頂いたことも何かの縁だと思しますので少しばかり述べさせていただきます。

私の専門は、「核医学」および「核医学検査技術学」ですのでSPECT再構成に関する技術的研究の指導を次の5タイトルについて行いました。

1. 理想的なSPECT収集条件および再構成条件の検討
2. 各種のSPECT画像再構成方法が臨床画像に及ぼす影響の検討
3. 収集カウントおよび検出器回転半径がSPECT画像に及ぼす影響
4. デジタルファントムを用いた各種のSPECT画像再構成方法が画質に及ぼす影響の検討
5. 自作デジタルファントムを用いたSPECT画像再構成(FBP, OSEM)を行う際の最適条件の検討

上記の卒業研究は、PC上でSPECT画像再構成や画像処理が可能なソフトウェアであるプロミネンス3.1およびプロミネンス添付の脳SPECTの臨床データや日本放射線技術学会核医学分科会が中心となり作成したデジタルファントムを用いて全てPC上で行いました。平成26年度には、学生教育用としてGE Healthcareの最新型Xelerisワークステーションが導入されましたが、納期の関係で卒業研究への利用は叶いませんでした。今後、

放射線技術科学科専用の68台のPCと連動させた使用方法を模索し、核医学および核医学検査技術学の教育や研究を、一層充実させようと検討しているところです。

卒研生に対して卒業研究や国試対策の指導を厳しく行ったところではありますが、夏休みには卒研生間の連帯を深める目的で私の大分県の実家で卒研生5名と私たち夫婦とで焼肉などで親睦を深めました。このような親睦会を行うことは、卒研生間や教員との連帯感を強め、卒研生が主体の研究および国家試験対策を行う際にはたいへん役立つように思います。このようにOFFでは学生にとり楽しい企画を行う事で連帯感がより強まり、結果的に卒研生間での研究や国試対策において短時間で効果を生むように思われます。

純真学園大学にとり初めての卒業生であり、またはじめて卒業研究を行った研究室ですので業績は殆どありませんが毎年の卒業研究を積み重ねることで、核医学や核医学検査技術学の理解を深める能力を学部生や卒研生に身につけさせたいと思っています。さらに核医学における先端技術の理解や応用を行うために臨床実習病院との共同研究を模索していきたいと考えています。

さて学会関係では、純真学園大学において第11回核医学画像セミナー(写真1, 2)が公益社団法人日本放射線技術学会核医学分科会の主催で平成26年1月18日に開催されました。このセミナーに参加した4名が卒研生としてSPECT画像について研究を行ったことは、今考えればセミナーへの参加でSPECT画像への興

味がより高まったと考えることができます。このようなセミナーを今後も診療放射線技師を目指している学生のためにも継続して頂きたいと考えます。

#### 4. 最後に

純真学園大学および放射線技術科学科は、これからの大学と学科ではありませんが、診療放射線技師を志す学生さんは本学を選択肢のひとつに考えて頂ければ幸いです。本学と放射線技術科学科そして私を含め放射線技術科学科全教員の今後の教育研究が、ますます発展していくことを祈念したいと思います。最後に関係の皆様、今後とも本学、放射線技術科学科そして河村研究室へのご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。



写真2 第11回核医学画像セミナー  
(2014/1/18)



写真3 第9回九州放射線医療技術学術大会  
(2014/11/1~2)



写真1 第11回核医学画像セミナー  
(2014/1/18)



写真4 卒業研究発表後の一コマ  
(2014/12/19)

河村 誠治

〒815-8510 福岡市南区筑紫丘 1-1-1

純真学園大学保健医療学部放射線技術科学科

[kawamura.s@junshin-u.ac.jp](mailto:kawamura.s@junshin-u.ac.jp)